

ふるさとに学び「幹」を育てる
～ よく考え 心豊かな チャレンジする八坂っ子 ～

1 学校は、地域や保護者の願いを大切にし、特色ある教育活動をすすめている。

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が78%と少し低い回答でした。

1・2年生の「町探検」、3年生の「地区探検」「徳地自慢」、4年生の「森林体験学習」、5・6年生の「森林体験学習」や「野鳥観察」、「重源上人ゆかりの地を訪ねて」など地域性を生かした体験学習に取り組んでいます。また「とくち苑の夏祭り」や「八坂夏祭り」、「船路八幡様のお祭り」では地域の方に重源太鼓の演奏を披露しています。保護者の方や地域の方のご協力をいただきながら各学年または全校で体験活動に取り組んでいます。今後も地域や保護者の願いを生かした特色ある体験活動に取り組んでいきます。

2 学校の考えや子どもたちの様子が学校便りや学級便り、懇談会などでわかりやすく伝えられている。

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が89%でした。

これまで、学校便りや学級便り、ホームページ等、また行事や参観日、懇談会、家庭訪問の機会を通して、学校の取組や子どもたちの様子をお伝えしてきました。今後もこの取組を続け、子どもたちの活動や様子がよく分かるよう、紙面などの工夫を行いながらできるだけ素早くお伝えしたいと思います。

3 学校は、緊急時や自分の子どもについて変わったことや大切なことがあれば、すぐに連絡をしている。

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が75%と少し低めの評価でした。

学校では安心安全メールや電話、連絡帳や家庭訪問等ですぐに対応していますが、これからもこの取組を続け保護者の皆さんへの連絡を迅速に行うとともに、連携を深めて子どもたちのより健全な育成に努めていきたいと思います。

4 学校は、子どもや保護者から気がかりに思っていることはないか聞くなど、いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応に努めている。

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が57%と昨年度の80%に比べかなり低めの評価でした。

家庭訪問や懇談会、アンケート等を定期的実施したり、連絡帳や電話連絡などを利用したりして、保護者の皆さんからのご意見を伺っています。今後、この取組を充実工夫しながらひろく保護者の皆様のご意見をいただける取組をしていき、未然防止につなげていきたいと思います。

5 **学校は学習の理解が不十分な箇所については、個別指導などで熱心に指導している。**

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が58%とかなり低めの評価でした。

日頃の学習指導や全国学力・学習状況調査、学力定着状況確認問題などで明らかになった児童一人ひとりの課題について、朝学や昼休み、長期休業中の補習などで個別に指導を行っています。今後もこの取組を続けるとともに、どの子ども「分かる楽しさ」を味わえるように授業の工夫や改善をしていきます。またご家庭でも、宿題や自主学習に進んで取り組むよう声かけをお願いします。

6 **学校は学習面や行動面についての成果や努力をいろいろな角度からきちんと評価している。**

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が84%の評価でした。

日頃の学習の時間や行事などで活動する子どもたちの様子を細かに観察記録し、その記録をもとに懇談会や保護者会、学校便りやホームページ、学年便りや連絡帳等で、一人ひとりの様子を細かに連絡していきます。

7 **学校は、一人ひとりの子どもの良さを認め、その力を発揮する場を作っている。**

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が76%の評価でした。

これからも、さまざまな行事や児童会活動、全校朝会等で児童一人ひとりに力を発揮する活動の場を与えていきたいと考えています。そしてその様子をホームページや学校便り等で保護者の皆さんに伝えていきます。

8 **学校は、子どもや保護者に誠意を持って対応している。**

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が75%の評価でした。

3、4、5、6、7、9、10の項目における評価とかがわりがあります。本校の教員は、子どもたちへの指導やPTA活動など全力で取り組み、子どもたちや保護者に真摯に対応しています。これからも子どもたちのよりよい成長に向け、保護者の皆さんの願いを生かした取組を続けていきたいと思ひます。

9 **学校には、相談しやすい先生がいる。**

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が60%と低い評価でした。

学校では連絡帳の活用や懇談会、電話連絡など気軽に相談していただける環境作りに取り組んでいます。これからも、普段からこまめに連絡を取り合うなど、さらに相談しやすい環境作りに努めていきます。

10 **学校は、PTA活動に協力的である。**

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が62%と低い評価でした。

PTA活動は、放課後や土日の勤務時間外のことが多く、なかなか協力ができないことが多いように思ひます。管理職がしっかりと対応していきたいと考えています。

また今年度は、夏祭りがお盆と重なったので、バザーの協力ができなかったのが残念でした。これからも事情の許す範囲での参加をしていきたいと思ひます。

11 児童は家庭や地域で、明るいあいさつや元気な返事をしていひる。

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が91%とほとんどの家庭でよい評価でした。

昨年来、指導してきたことが定着してきています。しかし児童同士のあいさつや時と場合に応じたあいさつについては、まだ課題を感じています。これからも家庭の協力を得ながら、教員による指導や児童会活動などを通じた取組をしていきたいと考えています。

12 児童は家庭でも読書の習慣がついていひる。

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が41%とかなり低い評価でした。

読書については、習慣化していひる児童としていひない児童の二極化を感じています。これからは担任の呼びかけや読書タイムの確実な実行、図書ボランティアさんの読み聞かせ、図書館支援員さんや図書委員会による図書室の環境整備など、読書に親しむ環境作りに取り組んでいきます。また家庭で読書の時間を設けるために、ノーテレビデー、読書の日を設定するなどの新しい取組にも挑戦していきたくひです。

13 児童は決まった時間ほど、家庭学習をしていひる。

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が60%と低い評価でした。

家庭学習の決まりなどを配布して、子どもたちに家庭学習をすることの大切さを指導してひいます。また懇談会などで家庭学習の重要性を説明し保護者のみなさんの協力を得ていくとともに、無理のない宿題の量や自主学習を子ども任せにしないなど、教師の支援の共通理解も図っていきたくひとおもひます。

14 児童は必要とときに自分の考えや思いをはっきり言うことができる。

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が60%と低い評価でした。

子どもたちは新聞社や放送局のインタビューなどでは、自分の考えや思いをはっきりと言うことができました。また毎日の授業の中で友だちとの関わりが持てるよう「ペア学習」や「グループ学習」を取り入れてひいます。さらには全校朝会や児童集会等で、自分の思いや考えを発表する機会を設けてひいます。これからもこの取組を継続して児童の力をより高めていきたくひです。

15 児童は学校が楽しいと言ひていひる。

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が78%の評価でした。12%が当てはまらないとの回答は、残念です。障害となつていひる要因を明らかにし、全ての児童が「学校が楽しい」といひる学校を目指したいと思ひます。

また児童が「授業がわかりやすくて楽しい。」「明日の授業が楽しみ」といひる気持ちにな

るように、これからも我々教師が授業改善をしていきます。そしてこれまでと同様に児童の様子をしっかりつかみ、学習のつまずきや人間関係のトラブルなどの解決を支援していきます。

16 児童は他人に優しく接することができる。

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が86%の評価でした。

高い評価でしたが、他人に優しく接することができないと評価されている児童がいることは、残念でした。これからもさまざまな活動を通してお互いの違いを認め合い、より良く関われる人間関係作りを目指していきます。また人権教育等を通して人権尊重の精神を養っていきます。子どもの声や姿をしっかりと掴み、学年・学級だけでなく登校班やなかよし班によるつながりも大切にしながら、お互いを思いやり仲良く過ごせる学校にしていきます。

17 児童は万一、不審者に出会ったり、家で地震や火事になったりした場合にどうすればよいか分かっている。

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が84%の評価でした。

本校では、不審者や地震火災、火災の避難訓練を年に3回実施しています。また避難訓練の前にはその都度、危険予測学習を実施し自分の命をどのようにして守るかの学習を行っています。その訓練や学習が成果として現れていると考えられます。ただ家庭と学校では避難の仕方も変わってきます。これからは保護者や地域と連携・協力した避難訓練や危険予測学習を実施することで、より具体的な避難方法を身につけさせたいと思います。

18 児童は夜10時までに就寝し、朝6時30分までに起床している。

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が67%の評価でした。

スポーツ少年団や習い事で遅く帰宅する児童もいると考えられます。しかし、翌日の学校生活に支障をきたす生活習慣では、かえって逆効果です。

子ども達の成長には、睡眠が欠かせないものということを踏まえ、生活を見直す必要があります。早寝、早起き、朝ごはんの習慣を定着させ、勉強や運動に全力で取り組める児童を育てていきたいと思います。

19 児童は朝ご飯を毎日食べている。

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる。」の回答が88%の評価でした。

食べ物は、考えたり動いたりするエネルギーです。そのエネルギーがないと考えたり動いたりすることが十分にできません。また空腹だと、物事に集中して取り組むことも難しくなります。これからは三度の食事の大切さを児童に伝え、保護者のみなさんと協力して児童全員が朝ご飯を食べる習慣を定着させたいです。

記述より

地域との連携を中心とした教育についてのご意見をいただきました。本校ではコミュニティスクールの取組を始めて4年目になります。保護者の皆さんからのご意見を参考に、地域の教育力を生かした取組をより充実させていきたいと思ひます。さらにはコミュニティルームなどを設置することで、保護者の皆さんや地域の皆さんが気軽に学校に足を向けられるような環境作りにも取り組んでいきたいと考えています。

また学校と家庭、地域が連携した教育を進めていき、児童の様子をいろいろな角度から見てご意見をいただくことで、地域に誇りを持つとともに自己肯定感を高めることのできる児童を育てていきたいと思ひます。